

## 令和4年度 第2回高齢者支援部会

### 議事録

日 時: 令和4年10月26日(水)

19時38分～20時26分

場 所: 帯広市役所10階 第3会議室

#### (会議次第)

##### 1 開会

##### 2 会議

(1) 令和4年度第1回高齢者支援部会議事録の確認

(2) 令和3年度決算報告

(3) 第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実施状況について

(4) 第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査について

##### 3 その他

##### 4 閉会

#### (委員・専門委員)

##### ● 出席(9名)

小林委員、山本委員、野水委員、下坪委員、畠山専門委員、東専門委員、川向専門委員、野尻専門委員、鈴木専門委員

#### (事務局)

##### ● 介護高齢福祉課

佐藤課長、野原主幹、斉藤係長、新鞍係長、渡部主任補

##### ● 地域福祉課

永田課長、佐々木主任

#### (議事録)

##### ● 事務局

ただいまから、帯広市健康生活支援審議会第2回高齢者支援部会を開会いたします。

本日は、委員及び専門委員9名中9名のご出席により、過半数のご出席をいただいておりますので、本部会は、帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第4条第1項の規定により、成立しておりますことをご報告いたします。

議事に入ります前に、本日の資料を確認させていただきます。

事前に皆様に送付しております、

・会議次第

・資料1 令和4年度第1回高齢者支援部会議事録

- ・資料2-1から2-2 一般会計決算
  - ・資料3-1から3-3 介護保険会計決算
  - ・資料4 介護保険事業の概要
  - ・資料5 第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画実施状況
- また、机上に配布しております、
- ・座席表
  - ・資料5の差替え
  - ・第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査について
  - ・【第九期計画】①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
  - ・新規・見直し項目の具体例（①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）
  - ・新規・見直し項目の具体例（②③介護保険サービス利用状況実態調査(利用・未利用)及び④在宅介護実態調査）
  - ・第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査への意見書
- 以上の資料につきまして、不足等ございましたら、ここでお申し付けください。  
 それでは、以後の進行は部会長にお願いいたします。

#### ●部会長

それでは、会議次第の「2 会議」に入らせていただきます。

初めに、(1)の「令和4年度第1回高齢者支援部会議事録の確認」でございますが、資料1「令和4年度第1回高齢者支援部会議事録」をご覧ください。

こちらの議事録につきましては、この場で皆様にご確認いただいた後、帯広市のホームページ上に公開する予定でございます。

議事録の内容について、皆様からご意見やご質問はございますか。

よろしいでしょうか。それでは、ご承認いただけたということで、こちらの議事録を公開させていただきます。

次に、(2)の「令和3年度決算報告」について、事務局より説明願います。

#### ●事務局

それでは、資料2-1 令和3年度一般会計決算(概要)をご覧ください。

一般会計の総事業費は、7億1,936万6,624円でございます。そのうち、老人福祉費が7億933万4,240円でございます。

前年決算対比で増減率が大きなものについてご説明申し上げます。上から3番目、「高齢者相談支援費」は、11万1,790円となっております。事務用品のほか、住宅地図などの購入により前年度より決算額が増加しております。

次に下から2番目、「地域介護・福祉空間整備事業」ですが、介護施設等における感染拡大防止のためのゾーニング環境等の整備に関して1件支援を行いました。減少した理由といたしましては、整備を希望する事業者が令和2年度よりも減少したほか、当初予算では介護施設等における簡易陰圧装置・換気設備の整備に関して432万円の予算を計上しておりましたが、予定していた事業者が整備を取りやめたこと、また非常用自家発電の設置を希望する事業者もありましたが、国において不採択になったことなどにより減少となっております。整備を実施した介護施設等における感染拡大防止のためのゾーニング環境等の整備に関しては、9月に408万4千円を補正予算で措置しております。

令和元年度以降の事業別の予算額及び決算額の推移につきましては、資料2-2のとおりとなっております。

以上が、令和3年度一般会計決算の概要でございます。

続きまして、資料3-1をご覧ください。こちらは、令和3年度、介護保険会計決算の(概要)です。

まずは、表題のすぐ下でございます、令和3年度の介護保険会計の総事業費は、158億2,251万8,359円となっております。前年決算対比では、5億9,319万9,086円の増となっております。

次に、前年決算対比で増減率が大きなものについてご説明申し上げます。左側の事業費からですが「保険給付費」関係につきましては、後程、資料4の方で説明させていただきます。

まず、一番下の囲みの任意事業費中「高齢者在宅生活支援事業費」について、令和3年度は、複数の民間事業者において地域高齢者の見守りを兼ねた配食事業を展開している、など資源開発が完了したことにより委託料の見直しを行ったところですが。市の事業においても、複数の事業者から選択できる状況になったことにより利用の増加を見込んでいたものの、民間事業者のサービス内容が充実してきている状況から、利用者が増加しなかったため減となったものです。

右側に移りまして、上から2つ目の囲みの諸費の内、●の3つ目の国庫・道補助金の精算返還金についてです。これらについては、令和2年度当初の交付申請に基づき概算で交付を受けたものに対し、実績で差額が生じたため、令和3年にそれぞれ返還したものです。前年対比で大幅増となっておりますが、コロナ等の影響で給付費が想定よりも伸びず、乖離が生じたことが主な要因です。

続きまして、2つ下の囲みの「一般管理費」以下の事務費ですが、まず、●の2つ目「一般管理事務費(臨時)」について、令和2年度と比べ大幅に減となっているのは、第八期計画策定に係る経費の分となります。

また、その一つ下の「一般管理事務費」(地域福祉課)については、もともと、2つ上の「一般管理事務費」(介護高齢福祉課)で令和2年度まで予算計上をしていた認知症ガイドブックの印刷に係る予算が、令和3年度から所管課が地域福祉課に変更となったことにより大きな増に見えています。

「賦課徴収費」・「介護保険料徴収費」について、令和3年度は収納一元化の組織再編により、元々介護高齢福祉課予算だった「賦課徴収費」の一部が、収納課の「介護保険料徴収費」に移っていますので、その影響で前年対比での増減が出ています。

一番下の囲みの「介護認定審査会費」「認定調査費」につきましては、国の要介護認定に関わる有効月数の関係で、更新申請件数が年度で増減する状況となっており、令和3年度は令和2年度に比べて申請件数が多い年度であったことから、前年対比で伸びているものです。

令和元年度以降の事業費別の予算額及び決算額の推移につきましては、歳出につきましては資料3-2、歳入につきましては、資料3-3のとおりとなっております。

続きまして、資料4をご覧ください。こちらは、介護保険事業の概要です。

まず、大きい囲みの1番目、「被保険者の状況」についてです。1番目の「第1号被保険者数(65歳以上)」につきましては、上半分の表につきましては、本市における平成21年度以降の人口や、第1号被保険者数の推移を記載しております。

表の右側、令和3年度の総人口は165,116人、第1号被保険者数は49,113人、被保険者比率は29.74%となっております。

また、第八期計画における推計としましては、令和4年度に被保険者比率が30%を超えるものと見込んでおります。

下半分のグラフにつきましては、棒グラフは本市の人口、折れ線グラフは第1号被保険者数となっております。人口は徐々に減少し、逆に、第1号被保険者が徐々に増加していることが分かります。

続きまして、2ページ目をご覧ください。「要支援・要介護認定者数」についてです。

表の左端の中段に、「合計④」と書いた行がありまして、こちらが、各年度における要介護認定者数の平均値となっております。令和3年度につきましては、10,784人となっております、平成21年度の約1.6倍に増加しております。

更に右にいきまして、第八期計画における推計としましては、令和5年度で11,574人を見込んでおります。

表の一番下の行には軽度認定者の割合というのがありまして、要支援1から要介護1までの方が対象となりますが、令和3年度は58.00%となっております。これは、早い段階で介護認定を受け、自立に向けた介護サービスを利用することで、介護の重度化の抑制に繋がっているものと考えております。

続きまして、3ページをご覧ください。「介護保険給付費の状況」についてです。

太枠で囲われた部分が、第八期計画における令和3年度の計画値、実績、計画対比となります。給付費の合計としては、計画値で146億8,315万6千円を見込んでおりましたが142億6,143万7千円の実績となっております。一番右側の、計画と実績の対比率につきましては97.1%と、概ね計画どおりに進捗してきております。

続きまして、4ページをご覧ください。「介護サービス別利用量の実績と計画」についてです。

こちらでは、サービスの利用人数や回数における計画と実績につきまして、サービス種類ごとに比較しています。併せて、令和4年度のサービス計画値及び予算値について記載しております。

左側の表の介護給付のうち、令和3年度の執行率につきまして、計画値と乖離している項目の主だったところとしましては、まず、短期入所系サービスについて、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや、受入れ停止期間などもあり、大幅に減となりました。

また、介護医療院について、開設の時期がずれ込んだこともあり、計画値よりも少ない実績となりました。

それ以外は、概ね計画通りの実績となっており、右側の予防給付の表につきましても、概ね介護給付に近い動きとなっております。

続きまして、5ページ目をご覧ください。「介護保険料の状況」についてです。

1番目の「段階別保険料」につきましては、第七期における H30年度から令和2年度、第八期における令和3年度からの所得段階別保険料額を記載しております。

2番目の「保険料の収納状況(現年度分)」につきましては、表の右下、令和3年度の収納率は99.27%となっております。

その下の3番目、「令和3年度保険料の収納状況」につきましては、特別徴収、いわゆる年金からの天引きと、普通徴収、納付書で納めていただく、それぞれの収納率を記載しております。

その右の4番目は、市独自の保険料の軽減制度の実績でございます。令和3年度につきましては、289人の方に422万4千円の保険料の軽減を行っており、軽減率は44.28%となっております。

説明は以上でございます。

●部会長

ただ今の説明について、ご意見やご質問はございますか。

●委員

資料3-1の「任意事業費」の中に、「重度筋萎縮性側索硬化症(ALS)支援事業費」がありますが、具体的にはどのような事業でしょうか。

●事務局

重度の筋萎縮性側索硬化症を患っている方が入院する際に、コミュニケーションの支援員を派遣す

る事業です。令和3年度の実績はゼロでした。

●部会長

ちなみに、令和2年度の実績はどうでしたか。

●事務局

ゼロでした。

●部会長

他に質問のある方はいらっしゃいますか。それでは、私から質問よろしいでしょうか。資料4の1ページ目の「総人口①」について、令和4年度に比べて、令和5年度の値が300ほど上がっておりますが、人口が増える見込みだということでしょうか。

●事務局

令和5年度の値は、八期計画の策定時に推計した値であり、令和4年度の値よりも令和5年度の推計値の方が上回る結果となりました。

●部会長

そうですか。あと、資料4の2ページ目の表についてですが、要介護5の認定者数が減少しており、認定者のうち要支援1、2と要介護1の占める割合が増えておりますが、帯広市の政策の効果とお考えでしょうか。

●事務局

帯広市の政策の効果により、介護度の重度化の防止に繋がっていると評価したいところではございます。また、要介護5の認定者数の減少については、亡くなられてしまう方が多いという要因もございます。

●部会長

介護認定審査会でも、要介護5と判定される方は減っているように感じます。他に質問がある方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

次に、(3)「第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の実施状況」について、事務局より説明願います。

●事務局

「資料5\_第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業実施計画実施状況」につきましては、指標の評価結果について説明させていただきます。

帯広市では、第八期計画において、4つの指標を設定しています。各指標は、達成率に応じて、A からD の4段階で評価しており、達成率80%以上をA、60%以上・80%未満をB、40%以上・60%未満をC、40%未満をDと評価しています。

各指標の令和3年度実績の評価について、説明いたします。

指標1『要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合』は、達成率が91.0%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

市による自立支援に向けた介護サービスの提供や、地域包括支援センター・介護事業所による介護予防教室への参加や自主的な軽運動等の実践などが、介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。

指標2の『地域の支え合いを推進する協議体の実施回数』につきましては、R3年度の実施回数は17回であり、目標を下回っています。感染症流行の影響により、地域住民が集まる協議の場の開催が制約されたことが、主な原因と分析しています。

今後は、取り組みの主人公である地域住民の皆様の意向を踏まえつつ、屋外での活動やオンラインの活用といった手法や発想の工夫を取り入れた、多様な形の協議・活動を推進し、地域の支え合いの仕組み作りを進めます。

指標3の『介護サービス事業所における1年間の離職率』は16.73%であり、目標達成に向けて順調に進捗しています。

潜在介護士の発掘のための研修に取り組んできましたが、介護の現場で働いている方同士の交流を図る機会を設定するなど、事業所における職員の定着を目指します。

指標4の『認知症サポーター数(累積)』につきましては、R3年度の認知症サポーター養成講座受講者数は累計で23,811人であり、目標を達成しました。令和2年度に引き続き、おびひろ市民学における取り組みの一つとして市内の小中学校でも講座を開催したことから、児童生徒を中心にサポーターが増えたことが要因であると考えます。今後も認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。

●部会長

ただ今の説明について、ご意見やご質問はございますか。

●委員

第4節の指標の認知症サポーター数について、小中学校で講座を行っているのご説明がありましたが、それは全部の学校でしょうか。

●事務局

全部の学校で行っておりますが、毎年、まだ受講していない学年の生徒が受講するように、調整しながら実施しております。

●委員

講師は市の職員が担当されるのでしょうか。

●事務局

講師は市の職員にもおりますが、他にも地域包括支援センターの職員など様々な方がキャラバン・メイトとして講師を担当されております。

●部会長

他に質問はございますか。無いようですので、次に、(4)「第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査」について、事務局より説明願います。

●事務局

「第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業実施計画の策定に向けたアンケート調査」につ

きまして、概要を説明させていただきます。お手元にお配りしているA4で1枚ものの資料をご覧ください。

アンケート調査については、調査時期を来年1月に予定しております。調査方法は、郵送による配布・回収となりますが、事業所及び介護労働者を対象とする調査についてはWEB回答も実施予定です。

アンケート調査は、記載の①～⑧の8種別で行います。①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び④在宅介護実態調査は、国指定項目と市独自の調査項目とを合わせた調査となっております。②③の介護保険サービス利用状況実態調査(利用者・未利用者)及び⑤事業所における介護労働実態調査、⑥介護労働者の就業実態と就業意識調査は市独自項目による調査となっております。⑦居所変更実態調査及び⑧在宅生活改善調査は、国指定項目による任意調査となっております。

アンケート内容については、市独自項目がある①～⑥の調査について、質問項目を一覧にとりまとめたものを配布しております。

調査項目に色がついている部分があるかと思いますが、★印がついているものが新規、□印がついているものが見直しを検討している項目となっております。

第九期計画でのアンケート項目設定の考え方についてですが、国指定項目は変更がないため、前回調査と同様の質問内容となっております。

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、新型コロナウイルス感染症による在宅生活への影響を把握するための項目を追加しました。

具体的な質問については、別紙「新規・見直し項目の具体例【①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】」の2・3ページ、黒色⑦から⑨をご覧ください。

次に、②③の介護保険サービス利用状況実態調査(利用者・未利用者)及び④在宅介護実態調査については、ケアラーについての質問項目を追加しました。

具体的な質問については、別紙「新規・見直し項目の具体例【②③介護保険サービス利用状況実態調査及び④在宅介護実態調査】」の1～3ページ、ケアラー部分をご覧ください。

なお、アンケート内容につきましては、現時点での検討案となっております。

今後、委員の皆様のご意見や、プロポーザルで決定したアンケート調査の委託事業者のアドバイス等を受けまして、最終決定するものとなります。

委員の皆様からのアンケート内容へのご質問・ご意見に関しましては、別紙の意見書にて受付いたしますので、11月7日(月)までにファクス等で介護高齢福祉課までご提出願います。

いただいたご意見等につきましては、今後の調査項目の最終決定に向け、参考とさせていただきますと考えております。

最後になりますが、今後のスケジュールについてです。アンケート調査は年明け1月に実施し、3月中に結果集計及び分析を行う予定です。なお、2月の高齢者支援部会において、詳しい計画策定に関するスケジュールについて説明を行う予定となっております。説明は以上です。

## ●部会長

この場で質問・意見が思いつかなくても、意見書に記入していただき、11月7日(月)までにご提出いただければと思います。ただ今の説明について、現時点で、ご意見やご質問はございますか。

## ●委員

アンケートの中で、回答者の年齢を回答する箇所に、「18歳未満」という選択肢がありますが、このアンケートは何歳の方に送られるのでしょうか。

●事務局

高齢者の方にお送りいたしますが、高齢者の方を介護されている方が回答する場面もございます。

●委員

小学生や中学生のケアラーも、こちらのアンケートに回答するものと考えてよろしいでしょうか。

●事務局

ケアラーについては、高齢者のケアをされる方だけでなく、障害者をケアされている方など様々なケースがございますが、本アンケートで拾える方については、拾いたいと考えて質問項目を追加しております。ただ、お渡ししているアンケート様式のとおり質問するかどうかについてはまだ決まっておらず、どのような質問をすれば実態が把握できるのか、今後、検討したいと思っております。

●部会長

他に質問はございますか。現時点で、質問、意見がなかったとしても、意見書に記入して11月7日までに提出していただければ、反映していただけるということですので、熟読の上、意見書を提出していただければと思います。

本日の議事は以上ですが、その他、何かございますか。

それでは、事務局から何かございますか。

●事務局

先ほどご説明した内容で、もう一度正しく説明をしたい箇所がございます。資料の4の「被保険者の状況」についてですが、先ほど部会長から、令和5年度は人口が増加する見込みかとのご質問がございましたが、令和4年度は、実績値であり、推計値である令和5年度の値と見比べると、人口が増加しているように見えますが、帯広市が立てている推計では、人口は減少していく推計になっておりますので、人口が増えるという見込みを立てているわけではございません。

●部会長

つまり、令和4年度は実績値で、令和5年度は八期計画の策定時に推計した値のままになっており、令和4年度の実績値が八期計画策定時の推計値よりも下回ってしまったということですね。了解しました。

●事務局

次回の部会につきましては、来年2月の開催を予定しており、令和5年度予算案が主な議題となります。

日程につきましては、別途調整の上ご案内いたします。

●部会長

それでは、以上で予定されていた議事はすべて終了致しました。

本日の高齢者支援部会はこれにて閉会と致します。皆様、大変お疲れさまでございました。